



平瀬 有人 准教授が建築設計を行った
「TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE」が第 4 回日本建築設計学会賞、
第 15 回日本建築学会 建築九州賞 作品賞、
第 34 回福岡県美しいまちづくり建築賞 大賞を受賞

【概要】

都市工学部門の平瀬 有人 准教授が建築設計を行った「TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE」が、第 4 回日本建築設計学会賞、第 15 回日本建築学会 建築九州賞 作品賞、および第 34 回福岡県美しいまちづくり建築賞 大賞の 3 つの賞を受賞しました。

【本文】

都市工学部門の平瀬 有人 准教授が建築設計を行った「TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE」が、第 4 回日本建築設計学会賞、第 15 回日本建築学会 建築九州賞 作品賞、および第 34 回福岡県美しいまちづくり建築賞 大賞の 3 つの賞を受賞しました。

「TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE」は、福岡・筥崎宮参道に面して建つデザイナーの新築オフィス兼用住宅であり、九州大学箱崎キャンパス移転に伴って取り壊されようとしていた 1928 年竣工の洋館建築・九州大学松浜厚生施設の一部を譲り受け、光を拡散するテント膜の屋根とともに地域に開かれた街の新しいシンボルとして再生したものです。

既存洋館建築の部材を利活用し、擬洋風ファサードの〈都市的記憶〉、気積が大きい階段室の〈空間的記憶〉、淡い水色と白色の外壁・茶色の建具枠といった〈物質的記憶〉の継承を試みています。いわゆる文化財保存のように痕跡を元にした厳密な修理を行うのではなく、歴史的要素の選択的転用により歴史的価値を新しい建築に繋ぎ合わせる「スポリア」（西洋建築において彫刻や円柱などの要素を別の建物に転用し再利用する行為）的な記憶の継承の建築設計手法が、「物語性」と「革新性」が同居する新しいあり方として高く評価されました。



(c) Yousuke Harigane

参考：各賞のホームページ

第4回日本建築設計学会賞

<http://www.adan.or.jp/news/othernews/3517>

第15回日本建築学会 建築九州賞

<http://kyushu.aij.or.jp/kyushuprize/>（※今後掲載される予定）

第34回福岡県美しいまちづくり建築賞

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/34kenchikusyo-kettei.html>